

舟越 桂

私の中にある泉



Funakoshi Katsura
Exploring My Inner Fountain
2020.12.5 Sat. – 2021.1.31 Sun.

開館時間=午前10時–午後6時(入館は午後5時30分まで)

休館日=月曜日(ただし1月11日は開館)、12月29日(火)–1月3日(日)、1月12日(火)

入館料=一般500円(400円)、大学生400円(320円)、高校生・60歳以上250円(200円)、小中学生100円(80円)

* ()内は団体10名以上及び渋谷区民の入館料 *土・日曜日、祝休日は小中学生無料 *毎週金曜日は渋谷区民無料 *障がい者及び付添の方1名は無料

主催=渋谷区立松濤美術館 特別協力=西村画廊

※会期中、一部展示替えがあります

《水に映る月蝕》2003年 楠に彩色、大理石 作家蔵 撮影:今井智己



渋谷区立 松濤美術館

THE SHOTO MUSEUM OF ART

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14
TEL.03-3465-9421 <https://shoto-museum.jp>

私の中にある泉



現代日本を代表する彫刻家、舟越桂（1951-）は、東京藝術大学大学院在学中に函館のトラピスト修道院から聖母子像制作の依頼を受けたことを契機に、本格的に木彫での人物像の制作を開始しました。1980年代にはじまる楠の木彫彩色の人物像は、1990年代前後から異形化が試みられるようになり、新たな表現領域が切り拓かれていきました。

舟越は、一貫して人間の姿を表すことにこだわり、「自分の中の水の底に潜ってみるしかない」と、創造にあたってまず自分自身と向き合う姿勢をとり続けてきました。その背後には「ある個人を特定して語っていく事、それが普遍的に人間について語る事になっていく」という思いがあり、また創作の源となる作者の内面は、ひそかに外につながる水脈を保つ地底湖のように、社会的あるいは個人的な様々な事象を受けとめ揺らぎ続けてもいるのです。

本展ではこの作家の心のありようを、仮に「私の中にある泉」と呼びます。そして、1980年代から今日までの代表的な彫刻作品にくわえ、ドローイング、版画、何かを思うたびに書き留められるメモ、自作のおもちゃや小物などをつぶさに見ていくことで、作品が生み出される作家自身の内なる源泉の姿そのものを探ります。



舟越桂 Funakoshi Katsura



Exploring My Inner Fountain

6.舟越保武《キリスト》1972年 紙に木炭 個人蔵 撮影：大谷一郎/7.舟越直木《マグダラのマリア》2013年 紙に木炭、パステル 個人蔵 撮影：江崎義一



1.《戦争をみるスフィンクスII》2006年 楠に彩色、大理石、革 個人蔵 撮影：内田芳孝/2.《森へ行くI》1984年 楠に彩色、大理石、ゴム・チューブ 作家蔵 撮影：早川宏一/3.《冬の本》1988年 楠に彩色、大理石 作家蔵 撮影：落合高仁/4.《自画像》1997年 紙に木炭、修正液 作家蔵 撮影：今井智己/5.《板されの人形》1985年頃 楠、杉、針金 舟越越、舟越も、末盛武彦、末盛彦彦、その他蔵

スペシャル対談(映像上映)

舟越桂氏 × いとうせいこう氏(作家・クリエイター)
本展のために収録された対談の映像を上映します(対談者の登壇はありませんので、ご了承ください)。
1月23日(土)午後2時～(約1時間30分)
地下2階ホール
*無料(要入館料) *定員40名(申し込み先着順)
*事前申し込みが必要です。「スペシャル対談」係まで。
映像協力：安井章浩(デフコンファイブ)

特別インタビュー「舟越桂、自作を語る」(映像上映)
作品や制作、本展の裏側など・・・本展のための特別インタビューの映像を上映します(舟越氏の登壇はありませんので、ご了承ください)。
12月20日(日)①午前11時～②午後2時～(各回 約1時間)
地下2階ホール
*無料(要入館料) *各回定員40名(申し込み先着順)
*事前申し込みが必要です。「特別インタビュー」係まで。
映像協力：屋上

レコード&CDコンサート

舟越桂氏所蔵のレコードやCDを聴きながら作品鑑賞ができる特別な一夜! 展示室にランダムに選曲された音楽がながれます。曲目は当日のお楽しみです。
12月26日(土)午後6時30分～(約1時間)
*無料(要入館料) *定員30名(申し込み先着順)
*事前申し込みが必要です。「レコードコンサート」係まで

特別講座「舟越桂の世界一展覧会開催にあたって」

1月10日(日)午後2時～(約1時間) 地下2階ホール
講師：西 美弥子(本展担当学芸員)
*無料(要入館料) *定員40名(申し込み先着順)
*事前申し込みが必要です。「特別講座」係まで。

事前申込 往復はがき、またはメール(event@shoto-museum.jp)にて、〒・氏名・年齢・日中連絡のつく電話番号をご記入の上、各イベント係まで。1通につき1名まで申込可能。
※「特別インタビュー」は参加希望時間帯をご記入ください。
※迷惑メール等の受信制限をされている方は、事前に@shoto-museum.jpドメインより受信できるようにしてください。

学芸員によるギャラリートーク

12月11日(金)、1月9日(土)、17日(日)
各日午後2時～ 約40分
*無料(要入館料) *事前予約の必要はありません

※本展会期中は、毎週金曜日の夜間開館(午後8時)および館内建築ツアーは中止いたします。

※会期や開館時間、イベント等変更する場合があります。最新情報は、当館ホームページ等でご確認ください。

〈次回展覧会のご案内〉

2021 松濤美術館公募展
2021年2月12日(金)ー2月23日(火・祝)
サロン展「渋谷区立松濤美術館所蔵 南薫造 日々の美しきもの」
2021年2月12日(金)ー2月23日(火・祝)
2月27日(土)ー3月7日(日)



アクセス 京王井の頭線神泉駅下車徒歩5分
JR・東京メトロ・東急電鉄 渋谷駅下車徒歩15分

渋谷区立松濤美術館
THE SHOTO MUSEUM OF ART
〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14
TEL 03-3465-9421 https://shoto-museum.jp